

町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会（第12回）

議事要録

- 日時 2017年2月8日（水）18時00分～20時30分
- 場所 町田リサイクル文化センター 研修室
- 出席 委員：高橋会長、小林（静）副会長、福岡委員、篠島委員、
小林（哲）委員、守屋委員、彦根委員、中丸（一）委員、中丸（康）委員、
高木委員、佐藤（早）委員、佐藤（臣）委員、安藤委員
- 欠席 3名
- アドバイザー : 荒井氏（公益社団法人 全国都市清掃会議）
- 事務局 : 小島環境資源部長、田後循環型施設建設担当部長、水島環境資源部次長
循環型施設整備課：守田課長、高原担当課長、深澤統括係長、黒須担当係長、竹内主任、
田中主事、鈴木主事
環境政策課：塩澤担当課長
資源循環課：窪倉課長、林担当課長
3R推進課：宇野課長
コンサルタント：株式会社日建設計
事業者：株式会社タクマ、西松建設株式会社、株式会社三ノ輪建設、株式会社俊設計
- 傍聴者 8名
- 配布資料
次第
1. 報告事項 建設ニュース18号
2. 確認事項
資料1 第11回連絡会でのご意見・ご要望【抜粋】
資料2 地区連絡会及び本事業に係る工事等のスケジュールについて
3. 協議事項
議題1 外観デザイン案について
資料3 外観デザイン検討の進め方（案）
資料4 外観デザイン説明資料
- 提示資料（パワーポイントによる投影資料）
提示資料3-1 忠生781号線（桜通り）と施設の位置関係について
提示資料3-2 外観デザイン検討の進め方について
提示資料3-3 デザインコンセプト、3つの外観デザイン案について
提示資料3-4 外観デザインの選定方法について
提示資料3-5 今後の予定
提示資料3-6 水銀排出規制値等について
補足資料 木調ルーバーイメージ
補足資料 煙突デザイン

1. 開会の挨拶

○ 開会の挨拶

小島環境資源部長より、開会の挨拶を行った。

続いて、荒井アドバイザーから挨拶頂いた。

2. 報告事項

○ 議題1 整備・運営事業者決定の報告

説明資料「建設 NEWS」18号を用い、田後循環型施設建設担当部長から、本事業の整備・運営事業者決定の経緯について報告を行った。

○ 議題2 町田市熱回収施設等整備事業者の紹介

決定報告に引き続き、事業者・代表企業タクマより自己紹介及び協力企業の紹介と、整備・運営事業実施に当たり、挨拶を行った。

3. 確認事項

○ 議題1 これまでに頂いたご意見・ご要望について

資料1を用い、事務局から、第11回連絡会で委員から頂いたご意見・ご要望に対して検討した結果について説明した。

(以下、質疑応答)

・高橋会長 前回8月の議事録について、会議の中で保留された事項がたくさんあった。本日の議事録に入っているものと入っていないものと幾つかあると思うが、そこについては提示スケジュール等、考え方をなるべく早くこの会議の場に出してほしい。

例えば、1番目の管理運営の体制について、今度新しい業者の方にオペレーションをお願いした場合、市の体制がどのような体制になるのか。我々周辺住民の要望が運営上満たされている、あるいはキープされているような形で運営されることは当然ですが、それが具体的にどのような形になるのか。

先ほどお聞きしたら、建設とオペレーションは別の会社、一応系列会社という話であるが、その関係がどのようなようになるのかよく分からない。建設されたものについての建設者責任はタクマが負うと思うが、オペレーションする上で問題が出てきたときに、例え

ば建設に起因するような問題であった場合に、その辺はどうなるのか説明がほしい。

また、事業者がオペレーションをして、町田市がそれを管理・監督という理解であるが、それがどのような形でキープされていくのか具体的に提示頂きたい。ずっと言い続けているが、この議事録では今後の検討となっている。

それから、環境保全協定のスケジュール等、これは建設業者の方が決まってからということでも積み残しになっていたが、もう決まったわけなので、なるべく早くスケジュールを出していただきたい。

今回の選定において、避難施設として機能させる提案やセルフモニタリングの提案、ワークショップ等の内容を評価したとのことであるが、これは評価委員会との間のお話であって、我々地元の連絡会は全然この点は聞いていない。ですから、連絡会にこういうことで事業者から御提案があつてそれを市は評価したので、地元に対してもこういう点で安心してほしいという形でわかりやすい説明をなるべく早くお願いしたい。

また、特に公害防止について我々は非常に早い段階から問題意識を持っている。いろいろな環境汚染対策の規制基準の数値を要求水準書の中で事業者に提示して、それに従って事業者で設計・施工するということですが、それが具体的にどういう形で担保された内容になっているのか。例えば、臭気についても、我々としては、バイオガス装置を初めとする装置の臭気については懸念を持っている。それが具体的に設計段階に入つてどういう形で担保されるのかということについてもなるべく早い段階でわかりやすい説明をお願いしたい。

- **守田循環型施設整備課長** 運営にかかる市や事業者の体制、環境保全協定のスケジュール等、これについては本日の議題とは別にお話するので、そちらで御確認いただきたい。

選考委員会での事業者の提案に対する評価内容と排ガスの規制値の担保等について御質問いただいたので、これについては早い段階でお示しさせていただきたい。

○ 議題2 町田市熱回収施設等（仮称）整備運営事業に係るスケジュール

資料2を用い、事務局より今後の地区連絡会及び本事業に係る工事等のスケジュールについて、説明を行った。

（以下、質疑応答）

- ・高橋会長 5月に工事の住民説明会が催されるということであるが、非常に気になっているのが、アスベスト問題である。現ごみ焼却施設、現管理棟、花の家も含めてアスベストの撤去工事はあるのか。その点、わかればお答えいただきたい。
- ・事務局 既にこの施設等も過去にアスベスト調査をしており、建材にアスベストを含有していることは確認している。今後詳細を事業者調査をしていただいて、再度確認をしていく。
- ・田後循環型施設建設担当部長 以前に調査をした時点では、管理棟やエントランスホール壁や工場棟の一部を確認している。それはもう明らかであるが、全てを解体するので、それだけの調査でいいということではない。これからさらに調査をして、撤去になればそれなりの措置をとり、正しく養生し安全な状態が確認できた段階で撤去工事に入るということは間違いない。早い段階でこちらについてもあわせてお出ししていくということを考えている。
- ・高橋会長 30年前の設備なのでアスベストもかなり使われているだろうとは思っているが、解体のときにそれが飛散する、それが風に乗ってこの周辺に飛ぶということは十分に考えられるので、この点については説明会のときに、どのような対策をしてその飛散防止が図られるのかという説明をお願いしたい。

4. 協議事項

○ 議題1 忠生781号線(桜通り)と施設の位置関係について

外観デザイン案の説明に先立ち、提示資料3-1を用い、田後循環型施設建設担当部長より、当初計画案からの敷地レベル変更による忠生781号線と施設の位置関係について説明を行った。

造成工事で大量に出る残土を減らし搬出車両を減らすことで周辺への影響を抑え、地盤高さは1.5mから2m程度高くなるが、デザインを工夫し圧迫感や見え方を工夫する旨、説明した。

○ 議題2 外観デザイン検討の進め方(案)

資料3及び提示資料3-2を用い、事務局より外観デザイン検討の進め方の案について、説明を行った。

○ 議題3 外観デザイン説明資料

資料4及び提示資料3-3を用い、事業者より全体コンセプト及び外観デザイン案について、説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・**守屋委員** 資料4で、街並みや町田市や未来の町、そのような中から「まちテラス」という言葉を出しているが、デザインとの体系づけがわかりにくい。「まちテラス」をもっと出すならそういう説明を少し入れてほしい。

この資料では各機能の中にゲートテラスだとかワークテラス、スカイテラスというような、テラスの提案が出ている。その辺の体系的な整理、わかりやすい記載をし、パースも使って個々のテラスの説明を入れてほしい。それから立体的に緑化空間を展開する絵もあるので、その辺とデザインに関する記述を整合させてほしい。

要求水準書からの事業コンセプトが置き換わって外観デザインの「まちテラス」というコンセプトになっている。「まちテラス」のコンセプトは、「“すべては市民のために”という想いのもと市民の皆様の暮らしを将来まで照らす」という、記載になっているが、もう少し「まちテラス」の意味合いの説明を入れていったほうがわかりやすい。体系的にもう少し整理して、もっとわかりやすくアピールできる記載としてほしい。

- ・**守田循環型施設整備課長** コンセプト自体は、もう提案した内容なので、基本的には変えることはできないが、個々のテラスの説明を加えるといったお話については検討させていただいて、次回にでもお示しさせていただきたい。
- ・**小林（静）副会長** コンセプトを見ますと、いろいろと今風の片仮名の文字が出ておるのですけれども、もう少し日本風のネーミングをつけてもらったほうがいいと思う。10年後、20年後にはこの片仮名が果たしてぱっと理解できるかどうかというのは疑問だ。「テラス」についても、恐らくこの名前はそのまま残ると思うので、もう少し日本的なネーミングを、サブタイトルでいいので考えていただきたい。
- ・**守田循環型施設整備課長** 申しわけないですが、こちらについてはデザインコンセプトとして提案していただいているものなので、この名称を変えとかいうのはできない。そこは先ほど守屋委員からお話があったとおりに、テラスとかそういった説明をわかりやすくするよう検討していく。

- ・ **高橋会長** 先ほどの説明でも「テラス」という概念が全面に出てきて、それがいろいろな機能を持ついわゆるPRポイントのように強調されているが、そのテラス自体がどのぐらいの大きさを持っているか不明である。

テラスと管理棟の中にある、いろいろな部屋の機能の関係というかコネクションを総合的に説明していただかないと、「テラス」という言葉があたかも万能薬みたいなイメージで語られことに違和感がある。

- ・ **事業者** ゲートテラスの中にはリサイクル展示スペースやリサイクル工場の配置を計画している。できればこのテラスレベルのサッシを一部あけられるようにして内外がつながるような空間構成にしたい。

断面スケッチの立体的な緑のつながりを説明すると、ゲートテラスの奥にリサイクル展示スペースがあり、その奥にライトコート、いわゆる壁面緑化を伴った吹き抜け空間を用意している。機能的な提案は、今後もできると考えている。

- ・ **中丸（康）委員** 今回の事業方式、DBO方式は施設工事と施設運営の費用がトータルで入っているが、今回の提案されたA・B・C案の各案の建設費に差がでるのか。長い年月を維持管理するに当たって管理費用は案によってどのように差があるのか。事業を縮小できたならば減額できるのか。高いのは認められないにしても安くなる分については認められるのか。

維持管理費などは年度ごとに払うのか、一括で払うのか。施設のつくり方と契約金額の内容、執行の仕方、その辺を説明いただきたい。

- ・ **守田循環型施設整備課長** 建設費についてはA・B・C案、全て基本的に同じとなる。

維持管理費は、C案が植栽する面積が多いので、その維持管理がかかるためコストがかかること事業者からは聞いている。契約金額については、どれを採用しても変わらない形となっている。

- ・ **中丸（康）委員** A・B・C案、全て同じというのは？

- ・ **守田循環型施設整備課長** 基本的には、各案とも建設費や管理費は全て同じで、契約金額の中で何ができるかを提案している。どれが選ばれても契約の内容は変えない、お金も変えないという形になっている。

- ・ **田後循環型施設建設担当部長** 運営費は毎年支払う形で、金額も定額で考えている。要求水準を履行する契約となっているので、それを変える場合、例えばごみの組成が変わるなど特別な事情がある場合は金額の変更はあるが、原則変わらない。

先ほどの植栽のC案は非常にメンテナンスが大変である。きれいにいつもメンテナンスして外観を損なうことがないような状態をつくるのは大変である。煙突については、遠くから見てもシンボルみたいになるので、結構インパクトがある。本日お持ちした見本（模型）にもあるが、形についてはこれからずっと100mのものが建つということをお理解いただいた上で検討いただければと思う。

・**荒井アドバイザー** 今回のスケジュールだと次回、次々回を使って決めていくということなので、皆さんの好みをいわゆる最大公約数的なもので決めていくというのが一番いいと考えている。

3案出してこのように協議会に出して決めるケースは、実は初めてである。全国にはあるかもしれないが、東京では1つの事業者に3つ出していただいて、委員会ではなく地元の幹部の人たちをお願いをして1つ決めてもらったというやり方がある。また、環境アセスメントの段階でアセスメントをやる会社を3社選び、3社がそれぞれ著名な建築家と契約して、それを価格も含めたコンペでやり、1社に絞ってやった例もある。

それから、最近ではD B Oの中で総合評価方式で、メーカー3、4社来るケースがあり、3社それぞれ違うデザインを提案してくるが、それも最終的に価格と技術的な評価をして1社に絞るケースもある。3つから契約後に選ぶというケースはほとんどない。そういう意味で非常に先駆的な試みだと思うし、いい試みだと思うが、建築というのは好き嫌いが相当あるので、その辺でこれがいいとお決めになるのが一番いいかと思う。

・**高橋会長** 好き嫌いを決めるにあたってはパースが少ない案もある、その点はどうか。

・**守田循環型施設整備課長** B案、C案は少ないと思うので、部分を拡大したものを事業者より提出いただき、お出しすることはできる。

・**高橋会長** ぜひお願いしたい。ちなみに、木製ルーバーはシャッターのようなものか。

・**守田循環型施設整備課長** 具体的な例として資料4の最初のページのところである。真ん中に平面図があり、下に拡大したパースがあるが、これはA案しかないなので、同じ形でB案もC案も次回お出しする。

・**荒井アドバイザー** 各案とも工場棟は全く同じという話であったが、管理棟についても基本的には同じ機能、同じ配置になり、A案では大屋根が飾りとしてついている、そういう理解でよいか。

・**事業者** そのとおりであるが、A案については、バイオ発電施設の目隠し壁に少し曲面をつけて、左側の管理棟と合わせてスカイラインを曲面で構成しているデザインとし

ている。おおむね配置・機能は同じである。

・**荒井アドバイザー** A案でもB案でもC案でも、テラスでワークショップ等をやるとしても同じことができるという理解でよいか。

・**事業者** はい。

・**荒井アドバイザー** カーテンウォールを使って近代的にしたりとか木製ルーバーを使ってソフトにしたり、工夫をいろいろして見え方を変えるということになるが、中に入る機械は一緒である。

・**高橋会長** 先ほど話に出たように、もう少しパースが理解できるような形で次回提示いただきたい。例えばこのルーバーにしても、先ほどのパースでもぼやっとしかわからないので、イメージがよくわかるような形で出していただきたい。

・**中丸（一）委員** 煙突は3案違うが、それぞれの建物に付いたものか、もしくは煙突は入れかえができるのか。

・**高橋会長** Aの煙突とBの建物の組み合わせは可能であるか、そういう意味か。

・**事業者** 取りかえることは可能であるが、ただ、Bの煙突をAの建物に持ってきて、それはデザインとしてマッチングしない。色彩など、入れ替えた中で再度デザインの検証は必要になる。

・**中丸（一）委員** 樹木については常緑樹や落葉樹があるが、周りに植える樹木はどちらのほうを考えているか。

・**事業者** 既存の木を伐採するので、それと同じような樹種で再度植栽を構成したほうがいいと環境影響評価に書かれているので、そちらに倣って考えている。落葉樹と常緑樹、両方あり、既存の樹木で具体的に計画している主なものは、サクラ、シラカシ、ケヤキ、コナラ、クヌギ、ニセアカシア、いわゆる里山によく生えているような樹木である。

・**中丸（一）委員** 常緑樹のほうが外から見た場合、建物が目立たないような気がするが、いかがか。

・**事業者** 具体的な樹木の配置は、いろいろな木をまぜて植えるという方向だが、これから詳細設計・実施設計の中で決めていく。なので、例えば南側の建物を隠したいところには常緑樹をある程度配置するといった調整はこれから行っていく。

・**彦根委員** A案を見ると、こんなにたくさん窓があって中が暑くならないのかと心配

している。管理棟は廊下がないので、執務室が非常に暑くなり過ぎてしまうのではないかと感じているが、その辺はどうか。

- ・ **事業者** 空調負荷についてはおっしゃるとおりであるが、今回ペアガラスを考えているので、空調負荷をできるだけ落とすような努力はしていきたいと考えている。あとはペリメーターゾーン、いわゆる窓際の空調をどのようにするかも検証もしていく。例えばC案は窓が小さいため、A案・B案に比べると空調負荷は少なくなると思う。その分、意匠的なところとか開放性とか、そういう部分で各案メリット・デメリットが多少はあると思う。
- ・ **彦根委員** できれば熱が入らないような、例えばB案とA案の折衷案だとか、そういうような方法も考えられないかと感じた。あとは、デザイナーの方がどう考えるかによる。
- ・ **事業者** 空調負荷については、今後実施設計の中で詳しく検証していく。
- ・ **中丸（康）委員** この連絡会で決定事項というのはどこまであるのですか。A案・B案これだとこの中の委員の人が言えばそれで決まるのか、あくまで提案としてこの案がいいのではないかとどまるのか、どちらか。
- ・ **守田循環型施設整備課長** 3案を提示させていただいて、その中から地区連絡会で決めていただくということになっている。
- ・ **高橋会長** 1つ質問だが、ワークテラス、それから隣のゲートテラス、幅はどれぐらいある設計になっているのか。
- ・ **事業者** 通路幅が狭いところで2.5mぐらい、そしてアール（曲線）で広がっているので、3.5mぐらいはある。
- ・ **高橋会長** ゲートテラスやワークテラスの幅は3.5mぐらいあるということか。
- ・ **事業者** 一番広いところで4.5mある。
- ・ **高橋会長** そこで何かの活動をするというほどの広さではない、余りそこに過度の期待をしないほうがいいかもしれない。
それからもう一つ、横じまの煙突というのは初めて聞いて驚いたのだが、他でそういう例があるか。
- ・ **荒井アドバイザー** 私の知っている範囲では、武蔵野市の既存の煙突が横じまになっている。
- ・ **事業者** 私どもの施工したものだと、横ストライプは最近はあまり事例はないが、趣

の違うデザインで横ストライプがある。

私どもで施工した物件の写真であるが、建物に全て横ストライプが入っており、それと合うような形で煙突も同じようなストライプを入れている。建物は高速道路のカーブに沿って建っていて、高速道路の何キロも先からこの煙突が象徴的に見える立地になっている。こういった形で横ストライプを入れて、いわゆる「ランドマーク」となる感じを意識したデザインをした例もある。

・**高橋会長** この四角い煙突というのも余り煙突らしくなくていい。

荒井アドバイザーが最近見られたものは、どのような印象があるか。

・**荒井アドバイザー** 最近非常に建築デザインのレベルが上がっており、本当にきれいになっている印象がある。少し前は、プラットフォームの部分が四角い箱で後ろの焼却炉が入る部分が四角い箱の、弁当箱が2つ並んでいるだけというデザインが非常に多かった。でも、最近はいろいろな形で地域環境に合わせた形で建物をデザインするというのが主流になっている。先ほどおっしゃっていたが、こちらは緑の多い地域なのだから、それに合わせてデザインしたということと言えると思う。

・**篠島委員** ガラスが入っていて明るくていいように思うが、台風が来たり地震が来たり、そういうときに余りガラスばかりの建物はどうなのかと思う。

それと、前に南側は総ガラスで北側も総ガラスの新築の建物に入ったことがあったが、暑さのため、南側のブラインド全部下しっ放しであった。それと似たようなことにならないよう、余り格好いいことばかり考えないで、もう少し落ち着いたデザインとしたほうが良いと思う。

・**事業者** 今の町田市役所もカーテンウォールが主体のガラスのデザインになっており、東京都内の大きなオフィスビルも最近はガラスのカーテンウォールが多い。当然ガラスなので、大きな飛来物が飛んできたりすると割れることはあるが、耐震的には全く問題ないと考えていただいてよい。

日本では一番日射の暑さを感じるのは西面になるので、我々は西面を必ず閉じるようなデザインを行っている。南面は太陽高度も高く、B案は少しひさしを出しているので、若干はそこで低減されると思う。

最近では省エネ法も非常に厳しいので、南面は当然ブラインドもしくはロールスクリーン等は設置することになる。どうしても日射角がきついときはおろしていただくというような時間や季節もあるかと思うので、それは御理解いただきたい。

- ・ **田後循環型施設建設担当部長** 執務スペースは基本的にオープンではなく、中で仕切りがある。執務スペース自体に直接光がそのまま100%入るわけではないと思う。
- ・ **中丸(康)委員** 次回には追加のパーズが出るとお聞きしたが、実際に桜通りから見てどのように見えるかが一番大事と思うので、その辺のパーズの提示をお願いします。
あと太陽光パネルはどこにつくのか。
- ・ **事業者** 太陽光パネルは、工場棟の南側の3階レベルにあるスカイテラスの横のスペースに設置する予定である。見学者がスカイテラスに出て来くと太陽光発電のほか屋上緑化・壁面緑化もこのあたりにあるので、総合的に環境について学習ができるスペースを想定している。
- ・ **高橋会長** これは町田市の建物なので、町田市の景観審議会に当然かかる物件だと思う。そこで審査されて変わる可能性のある部分というのはどういうところか。
- ・ **守田循環型施設整備課長** 色は基準があるので、種類によっては変更になるかと思う。建物形状自体は、今のところ審査予定でないが、再度確認して、次回に説明する。今のところ、色彩は影響が出るのではないかと考えている。
- ・ **高橋会長** 工場棟の色は先ほどの説明されたもので共通で決め打ちですか。
- ・ **守田循環型施設整備課長** ベースは次々回で決めていただくが、色については、これからの地区連絡会のスケジュール(資料2)にあるように、来年の3月頃にもう一回協議いただく予定となっている。
- ・ **高橋会長** 個人的にいうとあまり清掃工場ではないイメージの色が望ましい気がする。この近辺にあるのは、多摩市にしてもほとんど同じような色で、ぱっと見るとすぐに、ああここは清掃工場だなという色なので、そのあたりは何かもう少し工夫の余地があるという気がする。

○ 議題4 外観デザインの選定方法について

提示資料3-4を用い、事務局より外観デザインの選定方法及びについて説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・ **高橋会長** これについてはもう次回でいいと思うが、個人的には、例えば5点満点で点数を振るといったもののほうがいいのではと思う。

○ 議題5 今後の予定について

提示資料3-5を用い、事務局より今後の予定について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・高橋会長 私のほうから繰り返しのお願いであるが、次回に向けてもう少しB案、C案等についても、イメージが湧くようなパースなり何なりを出していただきたいというのが1点。また、これは外観デザインとは直接関係はないが、その中にどういう部屋があるのかがわかるような、例えばテラスの奥にはこういう部屋があるという簡単な平面図でもよいので、1階・2階・3階分を用意していただきたい。この2点をお願いする。
- ・守田循環型施設整備課長 次回提示させていただく。

○ その他 水銀排出規制値等について

提示資料3-6を用い、事務局より水銀排出規制値について、説明を行った。

また、環境保全協定検討のスケジュールについて、今年の夏・秋頃に話をスタートできればと考えており、新しい施設稼働前に締結させていただきたい旨、説明を行った。ただし、環境保全協定についてはいきなり協議を開始するのはたいへんであり、次回でもよいので、皆さんからご質問・ご意見等お寄せいただきたいことを伝えた。質疑応答はなし。

5. 事務連絡

○ 議題1 工事説明会の開催・施設名称について

事務局より工事説明会の開催日程について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・高橋会長 工事説明会の周知の方法はどうなっているか。
- ・守田循環型施設整備課長 多くの方に出席していただきたいので、町内会の回覧でお願いする等検討し、周知の仕方についてまた皆さんに報告させていただく。
- ・高橋会長 近隣で非常に心配している方も出てくると思うので、なるべく丁寧に周知を図るようにしていただきたい。
- ・守田循環型施設整備課長 今までもそういう形で対応させていただいているので、工事説明会についても、きちんと皆さんに来ていただけるように周知をさせていただきた

いと考えている。

5. 開会の挨拶

○ 開会の挨拶

田後循環型施設建設担当部長より、閉会の挨拶を行った。

(20時22分 閉会)